

岐阜県代協ニユ

平成30年1月
vol.274



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

『会長挨拶』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

あぜち まさはる

会長 畦地 正治

皆様、明けましておめでとうございます。

平成30年、西暦2018年の新春をお健やかに迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より岐阜県代協の運営に格別のご理解、ご協力をいただいておりますこと厚く御礼申し上げます。

平成30年1月16日グランヴェール岐山において開催いたしました賀詞交歓会には総勢124名のご参加いただき誠にありがとうございました。

ご参加いただきました会員、賛助会員の皆様、保険会社の皆様、ご協力をいただきました関係各位の皆様、本当にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。新年のスタートとして皆様とともに杯を交わし、岐阜県代協の更なる発展に努めてまいりたいと決意を新たにいたしました。今後ともより一層のご協力をいただきますように心から願い申し上げます。



さて、皆様にとりまして昨年はどんな年だったでしょうか。国内では選挙年齢が「18歳以上」へと引き下げられてから初の「衆院選」が10月に行われました。最年少棋士として、弱冠14歳の中学生 藤井聡太四段が歴代単独一位となる「29連勝」を達成しました。陸上競技では桐生祥秀選手が、日本人選手としては史上初の「100m9秒台」を記録する等、若い世代の活躍が目立ちました。

世界に目を向けると、アメリカでは「米国第一主義」を唱えるトランプ氏が大統領に就任し、「TPP 離脱」、「パリ協定離脱」を発表する等、世界に波紋が広がり、テロと見られる爆発や銃撃事件も後を絶ちませんでした。北朝鮮から発射されるミサイルの脅威に国民生活の安全が度々脅かされました。

科学技術の世界では、人工知能(AI)の研究が進み、コンピューター囲碁ソフトが、世界最強の中国人棋士を破る等、人工知能は時代の最先端技術の象徴となりました。

災害については2017年の夏を中心に、雨が降らなかった『梅雨』(6月、7月)、雨が毎日降っていた『夏』(8月)など季節の歩み方に異変を感じるトピックスが目立ちました。福岡県や大分県を中心に記録的な大雨となった7月の九州北部豪雨での日降水量は、観測史上1位を記録し、この大雨により河川の氾濫や建物の浸水被害、土砂災害が発生し、20名を超える犠牲者や行方不明者が出る甚大な災害となりました。

本年は、元号が「平成」に改まって30年目の「節目の年」となります。昨年末には、天皇陛下が平成31年4月30日にご退位されることになりました。ご退位までのこれからの1年と4か月が、『国の内外、天地とも平和が達成される』という願いが込められた「平成時代」の掉尾を飾るに相応しい、歴史的に意義深い、そして平和で平穏な日々となりますようにと願わずにはおられません。

さらに本年は「明治150年」と、日本が近代化に向けて歩みだしてから150年の節目の年でもあります。岐阜県代協も平成20年12月19日に一般社団法人として設立変更し、10年となります。新しい年が、世界と日本にとって平和な年でありますように、岐阜県代協と会員をはじめ関係各位の皆様お一人おひとりにとって良い年、意義のある年となりますように祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

1 p・・・会長挨拶／目次	8 p・・・中さんの保険諸国漫遊記(141)	①
2 p・・・スケジュール／事務局より	9 p・・・	②
3 p・・・賀詞交歓会報告	10 p・・・	③
4 p・・・支部活動報告①	11 p・・・『街道シリーズ』(飛騨街道13)	松尾 一
5 p・・・支部活動報告②	12 p・・・提携事業者広告掲載①	
6 p・・・委員会報告	13 p・・・提携事業者広告掲載②	
7 p・・・会員投稿	14 p・・・提携事業者広告掲載③	
	15 p・・・岐阜支部、中濃支部合同セミナー案内	

スケジュール/事務局より ～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
1	10	水	西濃	例会(11:30～)	大垣 五右衛門
	11	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
	11	木	飛驒	例会(13:30～)	損保ジャパン日本興亜 高山支社
	12	金	中濃	新年会(18:00～)	昇月
	16	火	県代協	賀詞交歓会(18:00～)	グランヴェール岐山
	16	火	広報委員会	委員会(13:00～)	グランヴェール岐山
	17	水	岐阜	役員会(12:00～)	岐阜県図書館
	18	木	東海ブロック	教育委員会(15:00～)	愛知県代協事務局
	19	金	西濃	新年会(18:00～)	一天張
2	6	火	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂市総合センター
	7	水	西濃	例会(11:30～)	大垣 五右衛門
	8	木	東濃	幹事会(11:00～、)例会(11:30～)	みわ屋
	9	金	飛驒	新年会(19:00～)	田辺旅館
	13	火	中濃	例会(10:30～)	加茂野交流センター
	13	火	飛驒	例会(13:30～)	損保ジャパン日本興亜 高山支社
	23	金	岐阜、中濃	合同セミナー(13:30～)	損保ジャパン日本興亜(株) 岐阜中央支店 会議室
3	9	金	CSR	地震保険普及キャンペーン	各支部

～ 広報機関誌委員会より ～

★『損害保険トータルプランナー新聞広告』について

恒例となっております豊富な経験と高度な知識を習得したプロ中のプロである「損害保険トータルプランナー」の皆様を中日新聞の紙面を通じて広く紹介し、また業界全体の認知・信頼度を上げることをねらいとして、今年度も『損害保険トータルプランナー新聞広告』を中日新聞朝刊岐阜県全域版に掲載を企画いたしました。

平成30年 2月24日(土)の朝刊 に掲載予定です。

是非ご覧ください。

岐阜県代協事務局

TEL : 058-329-0050

FAX : 058-329-0040

Eメールアドレス : gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp

(担当：小川百合子)



【賀詞交歓会開催報告】

平成30年賀詞交歓会を下記のとおり滞りなく終えましたことをご報告し、多数の皆様にご出席、ご協力いただきましたこと厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

開催日時 : 平成30年 1月16日(火) 18:00～
開催場所 : ホテルグランヴェール岐山 鳳凰
ご来賓 : 一般社団法人 日本損害保険協会 中部支部 事務局長 北川 裕司 様

一般社団法人 日本損害保険協会 中部支部 岐阜損保会副会長 藤澤 建樹 様
(損害保険ジャパン日本興亜株式会社 岐阜支店長)

ご来賓の皆様、各保険会社社員の皆様、賛助会員様、そして正会員より多数のご参加をいただき、総勢124名のもと、盛大に会が開催されましたこと重ねてお礼申し上げます。

今回は日本代協の日本代協コンセプトムービー&アニメふうたによるトータルプランナーの動画が、1月1日より公開されていますので、その2本の動画を視聴いただきながらの開催となりました。

「人とのつながり」、「絆」をコンセプトに損害保険トータルプランナーや、プロ代理店の役割を描いた会員宛でのPR企画番組としてYouTubeで配信中の動画です。

今回都合によりご参加いただけなかった皆様も日本代協のホームページの特設サイトでYouTubeのURL、番組内容等が紹介されておりますので是非ともご視聴下さい。

★閲覧方法 ⇒ YouTubeの検索欄に (日本代協 繋がり) と入れると一番上段に出てきます。

題目 『繋がり ～離れていても繋がっている～』

ふうたアニメのトータルプランナー紹介ムービーは検索欄に (日本代協 トータルプランナー) で上段に出ます。

題目 『損害保険トータルプランナーとは?』

(報告者 専務理事 森 信彦)



支部活動報告

【岐阜支部 1 月活動報告】

○岐阜支部 1 月役員会報告

開催日時 : 平成30年 1月17日(水) 12:00～

開催場所 : 岐阜県図書館

参加者数 : 14/16名

報告者名 : 井戸貴之

≪議題≫

① 2月岐阜・中濃支部合同ブロックセミナーについて

2月23日、損害保険ジャパン日本興亜 岐阜中央支店の会議室をお借りして2部構成にてセミナーを行います。他支部の会員の方も参加をお待ちしております。

1部「地域の中小企業経営者に寄り添うプロ代理店を目指して」(仮)

2部 週刊ダイヤモンド記者が語る様々な保険情報、裏話等(仮)

② 次年度役員選定について

③ 県代協より報告 CSRより・・・3/9 地震保険普及キャンペーン岐阜駅前で17:00より チラシ配りを行う予定。

献血キャンペーン

組織より・・・2月会員増強キャンペーン開始。

広報機関誌より・・・トータルプランナー資格取得者向けカード作成の協力

※次回役員会 平成30年 2月開催予定。

【西濃支部 1 月活動報告】

○西濃支部 1 月例会報告

開催日時 : 平成30年 1月10日(水) 11:30～

開催場所 : 大垣「五右衛門」

参加者数 : 17名

報告者名 : 中河 美智彦

≪議題≫

① 11/19～20 西濃支部研修旅行の参加御礼

② 委員会報告

・企画環境・・・ディーラーに対する注意喚起文書送付の件と ASV 割引案内によるディーラーの契約奪取の防衛対策の重要性

・広報機関誌・・・中日新聞掲載(2月24日)の「損害保険トータルプランナー」広告の申し込み確認

・CSR・・・1月、2月の代協献血キャンペーン協力をお願い

・組織・・・会員増強キャンペーン、年金基金加入要請

・教育・・・損害保険大学課程コンサルティングコース申込案内

・県代協・・・賀詞交歓会案内(1月16日)

岐阜・中濃支部合同セミナー参加要請(2月23日)

③ その他・・・1/19(金) 西濃支部新年会参加者確認(26名)

・4月支部総会のセミナー内容検討

※次回例会 平成30年 2月7日(水) 大垣「五右衛門」

【中濃支部 1 月活動報告】

○中濃支部新年会開催

開催日時 : 平成30年 1月12日(金) 10:30～

開催場所 : 太田宿

参加者数 : 31名(正会員、賛助会員、保険会社)

報告者名 : 福地 誉

※次回例会 平成30年 2月13日(火) 10:30～

加茂野交流センター(美濃加茂市加茂野町今泉 1545-4 Tel0574-24-0125)にて開催

※開催場所が異なりますのでご注意の上、ご参集ください。

【東濃支部 1月活動報告】

○東濃支部例会報告

開催日時 : 平成30年 1月11日(木) 15:00～

開催場所 : みわ屋

参加者数 : 13名

報告者名 : 安江 努

《議題》

①次年度役員選定について

②平成30年1月16日 賀詞交歓会出席の要請

③各委員会からの報告

企画環境・・・「注意喚起文書」送付について

広報機関誌・・・「損害保険トータルプランナー 中日新聞記載」について

・TVCM広告の代替えについて

CSR・・・地震保険普及キャンペーンについて

組織・・・会員増強の協力依頼

④平成30年度「東濃支部定時総会」について

※次回例会 平成30年 2月 8日(木) 11:00～幹事会 11:30～例会 みわ屋にて

【飛騨支部 1月活動報告】

○飛騨支部例会報告

開催日時 : 平成30年 1月11日(木) 13:30～

開催場所 : 損保ジャパン日本興亜

参加者数 : 11名(役員9名、会員2名)

報告者名 : 清水 公男

《協議事項及び連絡事項》

・不公正と思われる保険募集等について再確認

・平成30年度 新役員の件

支部長・・・熊木(ほけんのトパーズ)

副支部長・・・教育福祉・・・熊崎(保険相談オフィス)

副支部長・・・CSR・・・清水(武三四)

企画・・・塚本(保険タイム)

広報・・・総務・・・新井(タカバン)

組織・・・坂家(コア)

・賀詞交歓会

平成30年1月16日(火) 18:00～20:00 受付 17:30～ 場所 グランヴェール岐山

*参加できる方はお願いします。

・新年会 日程確認

平成30年2月9日(金) 19:00～ 田辺旅館にて

AIG損害保険 高山支店 支店長 岡本様 → 挨拶

未定 → 乾杯

《委員会報告》

・企画環境・・・不正広告などの対応について 取締りはできないが、注意喚起はできる

(日本代協より回答) 問題の店舗については、保険会社より指導が入った。

・CRS・・・子ども110番の家アンケートが12月号に入る。1～2月に献血キャンペーン。

・広報機関誌・・・会員証について(1500円 トータルプランナーの人のみ)

日本代協 動画(YouTubeで流れる)2月6.9.13日

2月2日ラジオで放送。

※ 次回開催予定 2月13日(火) 13:30～ 損保ジャパン日本興亜高山支社3F



委員会報告

【CSR委員会】

平成29年12月26日に岐阜新聞 岐阜放送社会事業団へ交通遺児の歳末助け合い義援金として、年間行事で募金箱によせられた36,420円を届け、12月27日岐阜新聞朝刊に掲載されました。ご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。ご報告いたします。

また、地震保険普及キャンペーンを昨年同様に3月に実施予定です。詳細は追って連絡いたしますので支部会員の皆様、理事役員、CSR委員会の皆様にはご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

(報告者 委員長 高橋 励)



(左写真)

平成29年12月27日(水)
岐阜新聞 朝刊24面より

【組織委員会】 新入会員紹介

中濃支部 : (株) ウインライフ岐阜関支店 代申 A I G 損害保険 (株)
店主 上村 叔江 様 〒501-3876 岐阜県関市貴船町26-1
TEL 0575-22-3356 FAX 0575-22-3357
(平成30年 1月 9日入会)

★全国一斉「代協正会員2月増強キャンペーン」のご案内

平成29年度都道府県代協正会員増強運動において、4月～11月末日現在の代協正会員数は平成29年3月末比較▲4店の12,211店、目標の12,733店に対し▲522店という現状です。年間目標である12,515店を早期に突破し、目標の12,733店を達成すべくキャンペーン実施が提案され、12月11日の第6回日本代協理事会にて、その実施が決定いたしましたのでご案内申し上げます。

開催時期は、平成30年2月1日(木)から2月28日(水)の1か月間

2月末年度累計＝全国純増目標：432店

岐阜県代協の年間増店目標は15店！！

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(報告者 組織委員長 川島 邦夫)

「健康」

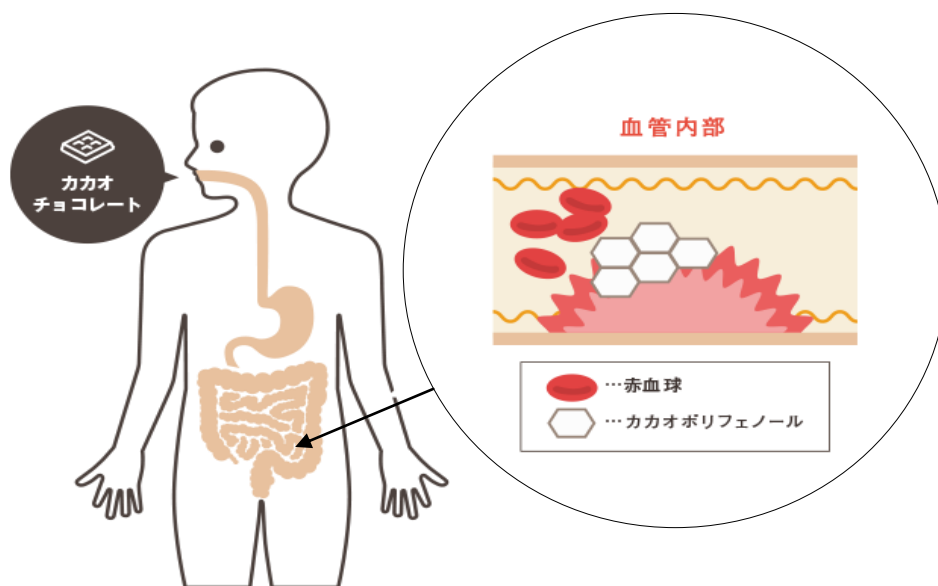
ここ1年半近く自分の健康状態について改善を試みてきました。というのも健康診断で保健指導を受けるようにとの指摘があり、相談員から体重を減らすようにと指導を受け、ご飯の量、間食を控えることにチャレンジ。そのおかげで健康診断では数値が改善され、メタボリックからの脱却ができました。



次の目標としては、血圧が高いためチョコレート効果にチャレンジ。カカオポリフェノールの含有量70%以上のものを1日25グラム程度摂るようにしています。

カカオポリフェノールの効果としては、血圧低下、動脈硬化のリスク低減、善玉コレステロール値の上昇、認知症予防があるそうです。

また、カカオにはもう一つカカオプロテインという成分があり、これは便秘改善（排便回数の増加、便色の改善、便量の増加、腸内フローラの変化）の効果が期待されるそうです。



健康について人それぞれの悩みがあるかと思いますが、悪くなる前に改善にチャレンジしてはどうでしょうか。大事なお客様を守るために。

2018年が皆様にとって良い年でありますように

(投稿者 松山 和由)

2018年は、顧客を守り抜く「人のネットワーク産業」へ

ーインシュアテック本格展開の中で、專業代理店の活路開拓

2018年の幕開け早々の1月19日、JR成田駅前の千葉交通駅前ビル（千葉銀や大手保険会社3社が入る金融ビル）5階にあるソフィア保険事務所でのRINGの会ベンチマーク勉強会（12名参加）に訪問し、小坂社長から代理店経営の在り方や組織運営の在り方や夢を聞く機会があったので、その前に、成田山新勝寺に初詣（初参り）に出かけた。

ここを訪れるのは2度目だが、成田のお不動様こと不動明王をご本尊とするこの寺が弘法大師空海の真言宗であること、940年、平将門の乱（天慶の乱）平定の平和祈願の護摩供養が開山のきっかけで、以来、密教的な儀式を執り行っていること、などお恥ずかしい話だが、今回初めて知った。源頼朝、徳川光圀、二宮尊徳、市川團十郎などのゆかりの寺。その広大な空間に圧倒される。

この参道に参詣客相手の店が軒を連ねるが、なかでもうなぎ屋は蒲焼のかぐわしい香り、鰻を割いて、竹串に刺し、蒸し、焼くという一連の工程を店頭で実演するなど五感に訴え、参詣後のウナギは楽しみの一つでもある。有名な老舗は何軒かあるが、やはり木造3階建ての川豊さんは人気の高い店だ。前回同様ここで、食事をすることにしたが、平日なのにすごい込みようで12時前ではあったが30分待ちの整理券を手にし、参詣後に立ち寄った。

今回は2階座敷に案内され、ビールと川の小魚の佃煮、お新香をつまんで待つことしばし、目当てのうな重（上、3、100円）がやってきた。ここのは、照りがひときわ印象的だが、見た目ほど濃くなく、薄めのやや甘口のタレ、口に含むと程よい脂のふんわりフワフワな身に、思わず顔が崩れる。食材でこんなにあやすく幸せにしてくれるものはほかにあるだろうか。店を出て、長命泉の蔵元成田銘醸直営店で甘酒を飲むがこれがまた出来立ての酒粕の香り、自然な甘さが素晴らしかった。



◇インシュアテック（保険の情報革新）はどうなる？

さて2018年の幕開けである。2017年の保険業界・代理店業界は「顧客本位の業務運営とデジタル社会化」を基軸に大きく業界の構造転換が図られた年となった。とりわけ、顧客本位の業務運営を基軸とした金融行政のスタンスの転換は、金融・保険事業にとっても大きなパラダイム転換として映ったが、2018年はどうなるだろうか？顧客本位の業務運営とインシュアテック（保険の情報革新）の流れはどうなるのだろうか。

保険業界でもAI（人工知能）はじめ、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）、デジタルレイバーなど耳慣れない言葉が登場し定着してきている。保険会社でも、組織運営面、業務プロセス面の新たなソフトウェアの導入効果などでのデジタル技術の活用による事務の省力化の進展も目立ってきた。RPAが導入され、ホワイトカラー業務の効率化定型業務の人から機械的な自動処理へ肩代わりするソフトウェアツールが、とりわけバックオフィス業務の省力化、生産性アップに貢献するものとして、導入が相次いでいる。

今年の保険業界は、AIやRPAなどの最新のデジタル技術をさらに活用し、営業や内務事務業務の一層の効率化を図るとともに、人材をより付加価値の高い部門にし主とさせることで業務品質と収益力の向上を図る方向でしのぎを削ることになりそうだが、保険代理店にとっても業務運営の効率化と生産性向上、人材の有効活用による付加価値サービス強化戦略上、留意したいところだ。

◇シェアリングエコノミーとP2P保険の登場

シェアリングエコノミーの波が保険の世界まで押し寄せ、インターネット、スマホなどを介して、個人間の余剰資産の共有（シェア）を図る動きだが、相互扶助という保険の仕組みにもこれをうまく取り入れたビジネスモデルP2P（ピア・ツー・ピア）保険（仲間＝ピアが集まりインターネット、スマホを通じて相互扶助する仕組み）が欧米で注目されているが、自動車保険分野では、ドライバーの運転特性をスマホアプリで管理する個人向けのテレマティクス保険の開発も国内損保で具体化したし、ワランティーが家財保険分野で、損保大手3社と組んで一日単位のオンデマンド型保険の開発・販売を開始するなど、さらには、スタートアップ企業ジャストインケース（少短事業者を申請中）が新たなモデルとしてP2P（仲間）保険というシェアリングエコノミーの保険版のようなスマホ保険の開発の動きも出てきた。

P2P保険モデルは、主として個人分野、当面保険の仕組みが単純な家財保険分野などを対象にし、旧来の大数の法則で成り立つ保険制度に比べ、その集団を仲間に細分化し、加入者自らが自らの仲間集団のリスク管理に責任を持つことで、その結果無事故ないし損害率が平均を下回った場合はキャッシュバックなど払った保険料の一部が戻るか次年度保険料が割り引かれる仕組みだ。

◇「チャットボット」と社会貢献

スマホネットワークやAIなどを活用しITなどの最先端技術を使い、効果的なビジネスモデルを構築したこと、すなわちAIなどの先端技術を駆使し、顧客は、「チャットボット」すなわち無人の自動対話システムでやりとりするだけで、数秒で保険への加入や保険金の請求手続きができる。リスク分析や保険プランの内容や価格設定にもAIを使うなど、事業コストを大幅に削減するとともに、簡易で迅速な手続きを提供し、顧客の満足度の高い、全く新たな事業モデルを導入しているのが特徴だ。

また、「ひとたび保険に入れば後は保険会社任せ」とせず、加入者自身がリスクマインドを高め、リスク管理に係る仕組みである点（テレマティクス保険も同様）と、例えば、2015年設立以来急成長を続ける住宅所有者、賃貸者向けのP2P損保の米国のレモネード社のように、行動経済学を取り入れ、コーズ（社会的課題）マーケティングを組み合わせ、未請求の保険料分は、加入時に選択したチャリティのテーマ（貧困支援、女性の支援、病児支援など）先に寄付される社会貢献の仕組みを取り入れ「ソーシャルインシュアランス」としているのが特徴だ。コストの透明性や社会への貢献志向を高めている点が注目されている。昨年12月にはソフトバンクグループなどから約132億円の出資を受け、民泊市場のエアB&Bのように、グローバルな市場展開など次の展開も観測されている。

◇垂直分業モデルから水平分業モデルへの転換

デジタル社会化の潮流、ビジネスのサイズによる垂直分業から、個を単位とした水平分業へのドラスティックな転換、量から質への転換、サイズの大規模化信仰（規模が大きくなければ生き残れないとかいう）の否定と相まって、企業本位・メーカーオリエンテッドのビジネススタイルを根底から揺さぶりだしたことは確実で、この潮流の行方を読み取りいかに的確な革新的ビジネスモデルの創造を図るかが問われてきている。

今年はさらにその革新的動きが加速度的に進むことは必至で、代理店の事業にも顧客本位の独創的で革新的な業態開発が求められるのは言うまでもない。ここで注意しなければならないのが、代理店個々の独創性、自主性に基づく新業態開発が求められているのだが、そこに、デジタル社会化・デジタル技術の進展で、サイズはコンパクトでもそれをネットワーク化して活かす仕組みづくりが求められてきていることだ。

◇顧客を守り抜くネットワークへ

とりわけ、肝心なのは「顧客をいかに守り切るか」、という視点である。従来の代理店経営にしばしば見られたのは、保険会社の規模拡大要請に則った新規契約量の拡大一辺倒の理念なき拡大主義であった。

しかし顧客本位の業務運営原則から完膚なきまでに否定された。それは果たして顧客利益を最大化するものか、顧客を志向した商品・サービスの提供か、顧客の利益と相反するようなことはないか、コストに見合ったサービスとして説明がつくよう手数料等の明確化はできているのか、分かり易い情報の提供や適切なサービス対応ができていないか、従業員に適切な動機付けなどのガバナンスが整っているか等、独自に創意工夫した取り組みがこの金融事業者（保険会社、代理店含む）個々に問われていることだ。

◇量追求で来た業界慣行が質向上へ激変

こうした流れを受けて、営業や販売の在り方も保険業界では変革を迫られ、手数料政策や販売推奨の在り方金品提供などのノベルティの在り方などあらゆる面で支配してきた業界慣行・業界慣習がドラスティックに自主的に変更されつつあるのである。

すでに、生保会社の中には、顧客本位の業務運営原則を企業レベルでK P I（重要業績指標）にまで落とし込んで思索化し公表するところまで出てきているが、まさに個々の事業体ごとに自主的に血肉化し、さらに世間に自らの施策を公表し、覚悟を示すことが求められている。まさに企業風土としてベストプラクティスを具体的に進めるスタンスが問われる時代に入ったのだ。

◇顧客を守り切る「人のネットワーク産業」

保険代理店という事業もまた、顧客本位の経営が待ったなしに求められる。というか、本来保険代理店は人のネットワーク産業（ビジネス）であり、顧客本位を体現するモデルであったのだ。これまで自然体で展開してきた、顧客に寄り添い、よろず相談窓口となり、顧客のお困りごとに、悩み事に自らの専門家のネットワークを活用してきたや仕組みを、より積極的かつ整然と明確な形で打ち出してゆけばよいのである。

保険会社は、代理店を保険販売という窓枠からしか見てこなかったが、顧客視点、顧客の窓枠からは、よろず相談窓口、生活や事業シーンでの多面的な問題解決支援業という広いスコープで理解されてきているのである。新業態開発も何も新たなビジネスを探すことではない、これまで漫然と展開してきた役割を顧客視点からより明確に位置づけ直すことであり、端的に言い換えるなら「顧客を守り抜く」役割を戦略的に明確化するところにあるのである。



◇いよいよ、人のネットワーク産業の雄たちよ！

すでにこのことに気づいた先進的な代理店経営者は、既存の顧客基盤を大切に、顧客を守り切るという観点から、顧客が晒されているリスク、その優先順位を洗い出し、これらリスクに備える手段、解決するための各種情報の提供を試みるとともに、そのための専門家ネットワークの構築による付加価値戦略を具体的に展開しているのである。

まさに、これからは代理店も、サイズの大小を競い合うのではなく、デジタル社会化のネットワーク技術や仕組みを活用し、サイズはコンパクトでも、顧客を守り切る付加価値が提供できるよう、自らの品質向上とネットワーク力強化を図ることが肝要だと思う。いよいよ、人のネットワーク産業の雄たちよ。

(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)



下原から中切へ(下呂市)

飛騨街道は、金山の町から馬瀬川を渡って飛騨国に入り下原に着きます。

美濃との国境にある下原は、天正のころから、金森氏の宿泊施設の下原旅館が置かれていました。旅館というよりは、本陣というべきものでしょう。場所は現在の下原小学校あたりと言われていています。ちなみに幕末、幕府の遣米使節随行団の一員として渡米して記録を残した加藤素毛はこの地で名主の次男として誕生しています。現在、生地跡には加藤素毛記念館「靈芝庵」があり一般公開されています。

下原は、また江戸時代には高山藩金森氏によって伝馬宿が置かれていました。公の荷物の中継地で宿泊施設もありましたから、いわば宿場といっても過言ではないでしょう。下原は飛騨の南の玄関口として栄えていたのです。

高山藩の伝馬宿は、下原のほか湯之島（下呂市）、萩原（下呂市）、渚（高山市）、そして高山に置かれていました。のち飛騨が幕府領になると下原と湯之島の間にある保井戸にも置かれていました。

高山から下原まで1泊2日の程度だったと言われて

います。飛騨街道は地元では益田川と呼ばれています。飛騨川の右岸を進みますがすぐに中切に着きます。このあたりの飛騨川には下原中綱場という綱場がありました。綱場とは太い綱を張り、上流から流れてくる木材を止めるものです。

江戸時代、幕府は南方材といった南飛騨の桧など木材を山から切り出し、飛騨川そして木曾川を利用して江戸まで運んでいました。山から切り出した木材は、現地に角材に加工されたあと修羅という方法で川に落とされ「管流し」といって木材を1本1本バラバラで川に流し、ここの綱場に集められたのです。



（綱場跡付近・このあたりに木材が貯められていた。）

さらにここ綱場から木材が流されて下麻生（川辺町）で筏に組まれ、途中、犬山（犬山市）、円城寺（笠松町）で、さらに筏を大規模にして、白鳥（名古屋市）や、桑名へ運ばれ、ここから、今度は船で江戸まで運んだのです。

これらの木材は、1年目に伐採、2年目に川で流し、3年目に船で江戸までというように3年ほどかかっていた。

この中切の綱場でせき止められた木材は、飛騨川の上流4キロメートルほど先まで埋め尽くされていたほどといわれています。さぞかし圧巻な光景だったでしょう。この筏流しは、下流にダムが出来る近代まで行われていたのです。

なお、このような綱場は上流や下流にもあり、主に萩原、下呂といった益田郡の人々が従事していました。

また、一部の木材は、ここの綱場から陸揚げされ、飛騨西街道を通り上有知（美濃市）方面へ運ばれていました。そんな下原中綱場は、現在、ゆったりと流れる飛騨川で偲ぶほかありません。

（まつお・いち） ライフワークは地域史(近世交通史)。

監修に『岐阜地理・地名・地図の謎』（実業之日本社）、『写真アルバム飛騨の昭和』（樹林舎）がある。

J-netレンタリース株式会社
 本社所在地 名古屋市東区東桜1-5-7
 TEL : 052-963-8231



レンタカー店舗	岐阜県	8店舗
Jネットレンタカー	岐阜駅前店	058-274-0582
Jネットレンタカー	大垣店	0584-93-4154
Jネットレンタカー	多治見店	0572-21-2543
Jネットレンタカー	関店	0575-21-7557
Jネットレンタカー	中津川駅前店	0573-65-1154
Jネットレンタカー	岐阜羽島駅前店	058-391-0154
Jネットレンタカー	下呂温泉案内所	0576-25-3005
Jネットレンタカー	飛騨高山駅前店	0577-35-2722

※その他愛知県14店舗、
 三重県5店舗など直営店・
 フランチャイズ店含めて
 40都道府県にて展開中
 (平成29年・6月末時点)

メーカー・排気量・使いやすさ・環境への配慮をした普通車からワゴン車・輸入車・
 福祉車両まで、様々な車種をご用意しております。

多種・多様なニーズに応えるために、一人一人がおお客様の立場にたった素早い行動を心がけます。

レンタカーのご用命は、是非Jネットレンタカーへ！

SHINWA グループ 本年も当グループ一丸となって尽くして参りますのでよろしくお願いいたします。

先日の雪と凍結の影響から自費修理のお見積のおお客様がご来店いただくケースが増えてきています。
 修理金額を抑えたい時には各工場共、リサイクルパーツの検索手段を持っており、即日回答はもちろんのこと、
 部品が見つかるまで探すことも可能です！ 北は北海道から南は沖縄まで、各種自動車の部品も検索可能！
 グループ代車 200 台以上の SHINWA グループにドーンとお任せください！！

また、保険修理も迅速対応を心がけておりますので、用途や地域に合わせて各工場に直接ご連絡ください。

オートボデーショップ篠田	大垣市上面 4-60	0584-74-7892
平野钣金工業	岐阜市中鷄 1-120	058-271-0773
オートサービスイトウ	瑞穂市生津天王町 1-98	058-327-7167
和田钣金工業	岐阜市敷島町 8-105	058-251-7065
AUTO PIT 羽島钣金	羽島市竹鼻町狐穴 1413-1	058-392-1521
オートリペアカワシマ	岐阜市打越 548	058-232-4185
三田自動車工業	大垣市十六町 618-1	0584-91-7381
成田钣金工業所	多治見市小泉町 1-164	0572-22-5456
東美自動車	中津川市茄子川 2076-68	0573-68-3126
リフレッシュセンター渡辺	瑞浪市小田町 1864-2	0572-68-0980
カトー自動車工業	可児市瀬田 1085-1	0574-62-3207
米野自動車工業	下呂市東上田 479-1	0576-25-2549
エコなおしのライト	高山市石浦町 9-408	0577-62-9345

SHINWAグループ

岐阜県の
 自動車钣金工場なら
 県下13拠点の
 SHINWAグループ



(2018年1月現在)

ホームセキュリティの新提案

HOME ALSOOK
みまもりサポート



安心を高齢者の皆様へ



ALSOOK 日本ガード株式会社

本社：岐阜市茜部中島2丁目66-6
U R L : <http://www.nihonguard.co.jp>

電話：058-274-0110
e-mail : eigyounihonguard.co.jp

ダメージカー(事故車・中古車)のご売却はタウにご相談ください

査定無料・迅速対応 ▶ 抹消・名義変更も確実 ▶ 車両の引取・処分も無料

タウがダメージカーを高価買取できる理由

世界には、事故や故障で壊れてしまったダメージカーを元の姿に修復し、再利用する文化が根付いた国々があります。タウは、このようなダメージカーに対する旺盛な需要が存在する世界100ヶ国以上に販売マーケットを拡大してきました。世界中のダメージカーマーケットを把握しているからこそ、「ダメージカーの高価買取」が可能なのです。



株式会社タウ 名古屋支店 TEL:052-930-6711 FAX:052-930-6712

愛知県名古屋市中区葵1-19-30 マザックアートプラザ10F E-mail:NAGOYA@tau.co.jp

TAU
www.tau.co.jp

- 本社：さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー10F ●事業内容：事故車・中古車、自動車部品、ボート等の買取・販売・輸出
- 資本金：1億円 ●従業員数：336名(2013年9月末) ●売上高：156億円(2013年9月期)
- ネットワーク／札幌、盛岡、仙台、水戸、高崎、埼玉、千葉、西東京、横浜、金沢、浜松、名古屋、大阪、神戸、広島、高松、福岡、熊本／プリズベン、ウラジオストク、ドバイ





創業50余年。実績でお応えいたします。

株式会社 **ゴトウ自動車ガラス**

自動車ガラスのコトならプロにおまかせ!!

くるまのガラス 救急隊!!

フロントガラスを取り替えるなら、
当社オススメ、夏も冬も大活躍。燃費もよくなります。
エンジェルガード/クールベール



**見積無料
出張サービスOK**

ガラス交換
ガラスリペア
カーフィルム
カッティングシート
ウォータースポットとり



看板制作も承ります。
フルカラーのインクジェット印刷からカッティングシートまでご利用目的により、デザインから取付までお任せ下さい。

詳しくはホームページで
<http://www.gag-jp.com>

■本社 岐阜県多治見市池田町2-48
TEL:0572-22-0175
FAX:0572-23-3510

■多治見店
岐阜県多治見市池田町1-41
TEL:0572-22-0175 (代)
(TEL対応可能)
FAX:0572-23-3510
営業時間 8:30~18:00
日・祭日 9:00~17:00

■美濃加茂店
岐阜県美濃加茂市本郷6-116
TEL:0574-25-2390
(TEL対応可能)
FAX:0574-25-1710
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■恵那店
岐阜県恵那市大井町宮之前1116-36
TEL:0573-26-2611
(TEL対応可能)
FAX:0573-25-4183
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■高山店
岐阜県高山市下切町169-2
TEL:0577-33-4306
(TEL対応可能)
FAX:0577-33-4307
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

いつもお世話になっております。 有限会社 **イブカ** です。

※ 365日 24時間 レッカーサービス

どんな事故でも対応致します！



※ 365日 24時間 レンタカー 現場配送 サービス
レッカーサービスと同じように御用命下さい。

フリーダイヤル 0120-495-039 携帯電話 090-3309-2925

岐阜本社 岐阜市柳津町南塚 4丁目 249	TEL 058-388-5678	FAX 058-388-5679
岐阜本荘営業所	岐阜市敷島町 9丁目 1-1	
岐阜羽島営業所	羽島市足近町 3丁目 634-1	
岐阜本社工場	羽島郡笠松町門間 726-1	

★岐阜支部・中濃支部合同セミナー開催のお知らせ★

平素は代協活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、昨年2月開催の岐阜支部、中濃支部合同セミナーには多くの会員の皆様にご参加いただき、大変好評を得ることができました。

そこで、本年も合同セミナーを行う運びとなりました。今年度のセミナーは損害保険ジャパン日本興亜 岐阜中央支店の会議室をお借りし、2部構成で行います。

必ず皆様のお役に立つセミナー内容と思われまますので、岐阜支部会員はもとより、他支部会員の皆様も多数のご参加をお待ちいたしております。

○セミナー

日 時 : 平成30年 2月23日(金) 13:00 (受付開始)
13:30~

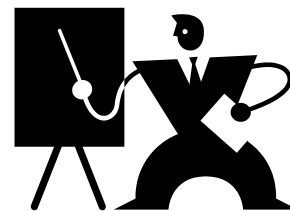
会 場 : 損保ジャパン日本興亜(株) 岐阜中央支店 9F会議室

第1部 「地域の中小企業経営者に寄り添うプロ代理店を目指して」
～事業承継に果たす保険代理店の役割～

講 師 : 損保ジャパン日本興亜(株)リテール営業推進部 **粕谷 智 氏**

第2部 「生保販売の現状と課題」

講 師 : 週刊ダイヤモンド **藤田 章夫 氏**



(岐阜支部長 井戸 貴之)

編集後記

2月2日・9日・16日・23日の各金曜日午後5時15分より岐阜県代協のラジオCMを放送します。
(FM80.0 東京 FM 系列) ぜひご拝聴下さい!

内容は自動車保険の特約についてです。弁護士費用特約、個人賠償自転車特約、対物超過特約、人身傷害保険車外特約の4項目の予定でしたが、対物超過特約については基本契約に併合となっている為、特約ではありませんが、ASV割引についての内容に変更しました。

割引率等の具体的な話はしませんが各社9%が多いようです。

ここで出てくるのが自動運転レベル4以上の自動車の割引率です。50%とか60%とかになって来ると私たちの業界にとっては大変な事になります。今のうちに手を打たねばと思いました。

(飛騨支部 徳永 徹)

発行日/平成30年 1月25日

責任者/畦地正治 発行/広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail : gfdaijkyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】

徳永 徹、北村篤俊、水川博之、後藤信男、後藤哲裕、今津洋平、小倉治実、清水公男

畦地正治、森 信彦